

第十九卷 第三号 (昭和四十年十二月)

論文

近代的所有権の構成と形成……………宮川 澄

——日本民法における所有権の法的性格をめぐって——

価値の大きさを規定する労働分量について……………大木 啓次

——『経済学批判』から『資本論』現行版へいたる改訂の検討を通して——

資産評価の歴史的経緯……………茂木 虎雄

——いわゆる「棚卸資産」を中心として——

日本資本主義の米価問題(六)……………井上 周八

中小企業の統一原価計算制度の普及運動について(完)……………敷田 禮二

研究

ドイツ「三月革命」期の独占問題(二) 肥前 栄一

——「ブロイセン王立海外貿易会社」をめぐって——

紹介

青年リストの伝記的諸問題……………小林 昇

昭和 41 年 1 月 20 日 発行

編集兼 三宅 義夫  
発行 兼 編集 兼 発行

立教経済学研究 立教大学経済学研究会

第十九卷 第四号

東京都豊島区池袋3丁目

立教大学経済学部研究室内

¥140 (〒60)

電話東京(983)0111(代表)

振替口座 東京 23640

印刷 大日本印刷株式会社